

＝茅ヶ岳歴史文化研究所とは＝

NPO法人茅ヶ岳歴史文化研究所は、平成14年9月11日に設立されました。

法人の母体は、旧明野村の地域の歴史と文化財を学ぶ人たちの集まりでした。地域の歴史と文化財を次の世代に伝え、よりよい地域を作る礎にしたい。それが私たちの願いでした。

しかし調査をするうちに、文化財が生活環境の変化とともに失われ、人々に忘れられていくことに気づきました。こうして地域の歴史と文化財を保護・活用するために、茅ヶ岳歴史文化研究所が誕生しました。茅ヶ岳山麓の文化財や歴史を調査研究し、住民による活用と保護を進める活動をしています。

沿革

平成14年8月29日 法人設立を認証される
平成14年9月11日 法人設立



北杜市埋蔵文化財センター



明野歴史民俗資料館

主な活動内容

- ＝文化財の活用＝
地域にある遺跡や文化財を活用したイベントを行っています。
- ＝指定管理者＝
北杜市明野町より指定を受けて、北杜市埋蔵文化財センターおよび明野歴史民俗資料館の管理・運営を行っています。
- ＝文化財の調査・研究＝
地域に伝わる古文書や文化財を調査研究し、地域史の解明に役立てます。
- ＝情報の発信＝
茅ヶ岳歴史文化研究所の会誌を発行します。また、書籍の編集・出版をお手伝いしています。

活動実績

- 平成16年度 伝統文化子ども教室事業 (子ども神楽教室を開催)
- 平成16年度 文化ボランティア推進モデル事業委嘱 (発掘ボランティア募集・日没観察会開催)
- 平成16年度 伝統芸能・民俗行事保存伝承事業 (獅子舞の復活再興)
- 平成16年度 同事業 (伝統行事ガイドブックの作成)
- 平成16年度 同事業 (民俗行事映像記録の制作)

＝会員募集＝

～茅ヶ岳歴史文化研究所の活動に あなたの力をかしてください～

私たちと一緒に活動して下さる方、
ご賛同いただける方を募集しています。

入会金 1,000円 年会費 5,000円

入会希望の方は下記までご連絡ください。

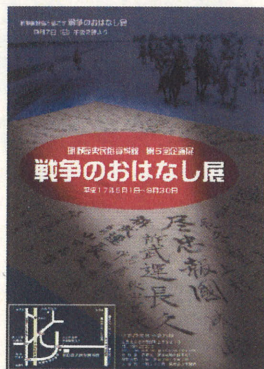
＝資料館だより＝

企画展のお知らせ

第6回企画展
「戦争のおはなし」展

期間：平成17年5月1日～
平成17年9月30日

戦争民具の数々、郷土研究部編「ふるさと明野をつづるシリーズ 私と戦争」から戦争体験者のお話を公開します。



＝編集後記＝

茅ヶ岳歴史文化研究所にご寄付がありました。活動資金として大切に活用させていただきました。ありがとうございました。

かやぶんかわら版は、茅ヶ岳歴史文化研究所の会報として毎月15日に発行し、地域に根ざした活動のご案内や報告を行っていききたいと思います。会報は会員に郵送するほか、事業所や商店などを通じて一般配布いたします。当法人へのご意見・ご要望をお待ちしております。

かやぶんかわら版 創刊号
発行日 平成17年4月15日
発行者
特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所
〒407-0204 北杜市明野町上手8310
TEL/FAX 0551-25-2019
ホームページ <http://kaya-net.jp>

会報の定期送付をご希望の方はお申し出ください。送料は年間1000円です。(会員は無料)



かやぶんかわら版

創刊号

こちら

NPO法人 茅ヶ岳歴史文化研究所 です



新しいのちを
吹き込みたい。



地域の文化財を
息づかせたい。



ふるさとの歴史と文化を生かし、
未来へつなげるためのお手伝いをします。

縄文時代の環状集落 梅之木遺跡の活用事業

北杜市明野町浅尾地区の縄文時代中期の遺跡、梅之木遺跡では、平成15年の県営畑地総合整備事業に伴い発掘調査が行われ、住居跡がドーナツ状に並んで残る“環状集落”が発見されました。梅之木のような、大規模な環状集落の全体像が調査で明らかにされている例は、県内では稀なことです。

茅ヶ岳歴史文化研究所ではこの貴重な遺跡を住民に知ってもらい、活用してもらうために、北杜市教育委員会のご協力を得てボランティア活動やイベントなどを行ってきました。梅之木遺跡は今春からまた発掘調査が再開されます。茅ヶ岳歴史文化研究所ではこれからも遺跡保護と活用のための活動を続けていきます。

梅之木日没観察会

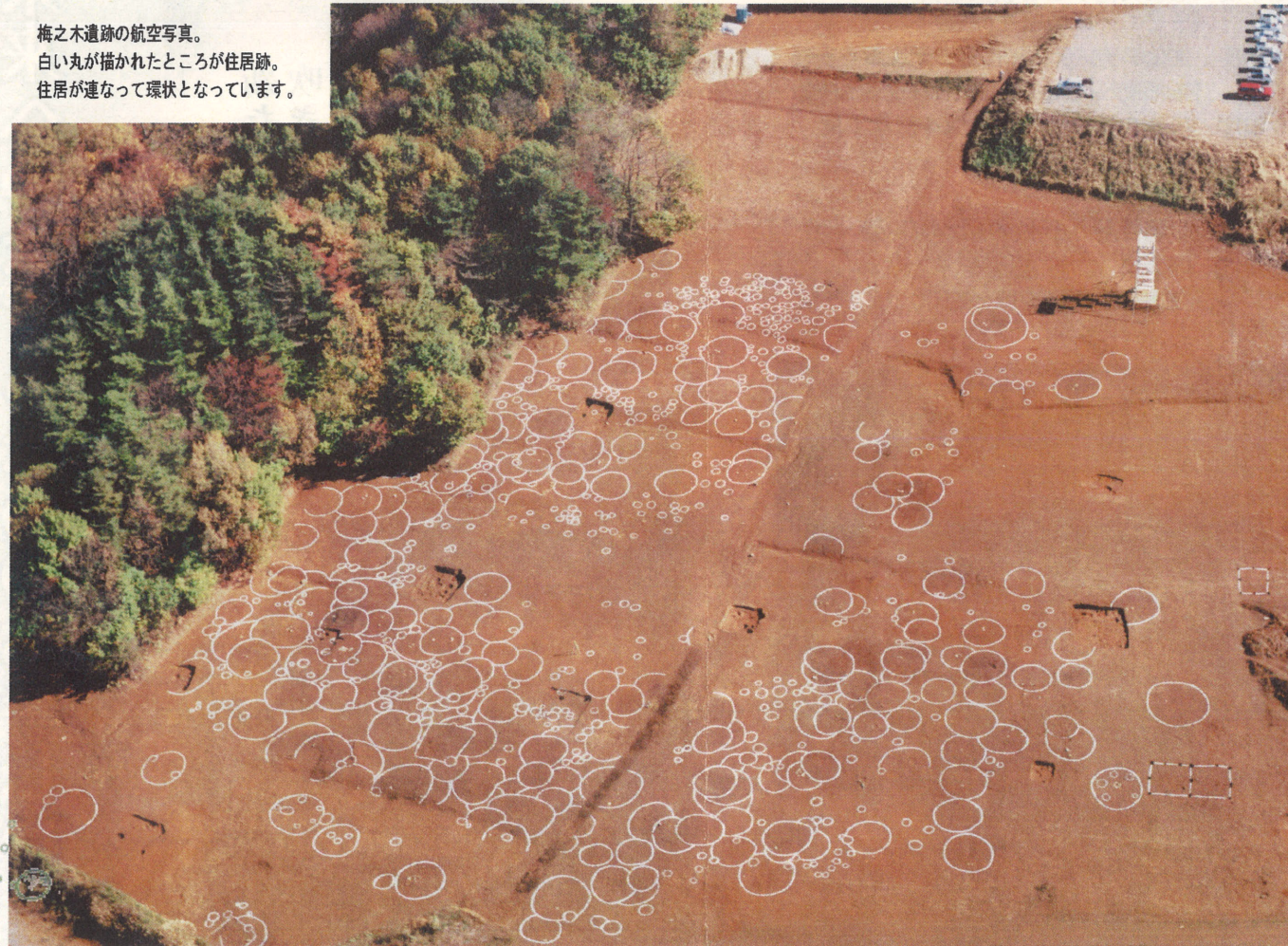
茅ヶ岳歴史文化研究所では、梅之木遺跡を舞台にした縄文体験イベントとして計4回の日没観察会を行い、火おこしをしたり、縄文汁を作るなどして縄文の生活を体験しました。



梅之木発掘ボランティア

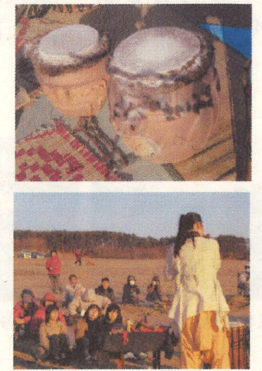
梅之木遺跡で平成16年度に行われた調査発掘に、ボランティアの参加者を募集し作業に協力しました。ボランティア参加者は10月から11月末までの毎週土曜日に発掘作業を行いました。

梅之木遺跡の航空写真。白い丸が描かれたところが住居跡。住居が連なって環状となっています。



梅之木縄文コンサート

平成17年3月19日に行われた春分日没観察会では、復元した土器に鹿の皮を張って作られた“縄文鼓（じょうもんこ）”と、石に穴をあけて作った“磐笛（いわぶえ）”を演奏するコンサートを開催しました。



文化庁助成事業 「伝統文化子ども教室」



明野町浅尾三島神社で四方の舞を披露する児童

平成16年度伝統文化子ども教室事業にて実施した「おかぐらチャレンジ教室」は、4月3日と10日の神社春祭りにおいて子ども神楽を披露し、事業を終了しました。教室は講師に三島神社神楽保存会の上野周茂氏と藤巻元氏を招いて、月2～3回の練習会を開催し、明野小学校児童7名が参加していました。

日没観察会 会場

発掘ボランティア現場

縄文コンサート会場

縄文ワークショップ

平成17年2月には北杜市埋蔵文化財センターで縄文ワークショップが行われ、参加者はそれぞれ自分が選んだ縄文の模様を使って、自分だけのオリジナルTシャツを作りました。

梅之木遺跡発掘報告講演会

3月には平成16年度の梅之木遺跡発掘調査の報告講演会が開かれました。発掘風景写真や航空写真の上映や、出土品の解説などが行われました。

